

避難区域の写真集贈呈

三春の飛田さんが知事表敬

東京電力福島第1原発事故の避難区域で被災地の風景を撮り続けている三春町の写真家飛田晋秀さん(66)は16日、県庁に佐藤雄平知事を表敬訪問した。飛田さんは昨年12月刊行の写真集



佐藤知事に写真集を贈り、写真家としての意気込みを語る飛田さん(左)

「福島のがたぐさ3・11で止まった町」を佐藤知事に贈り、2月から3月にかけてウクライナや東京・秋葉原、都庁など国内外で開く写真展の計画を報告した。

「関東より西の地域では原発事故が収束したと思う人がいる」と印象を語った飛田さんは、三春町で食堂や営農を再開した避難住民などを紹介し「福島を再生しようという前向きな姿を撮りたい」と決意を語った。佐藤知事は「写真を通して福島の実態、現状を伝えることは風化の防止につながる。世界から寄せられた支援への恩返しとして、元気な福島を発信していく」と誓った。